電気化学会第86回大会の 開催にあたって

萩原 理加

電気化学会第86回大会は、3月27日（水）から3月29日（金）の3日間にわたり、京都大学吉田キャンパスで開催されます。京都大学での開催は、第76回大会以来、ちょうど10年ぶりとなります。

会場も前回とほぼ同じ、吉田キャンパスの本部構内と吉田南構内での開催となります。大会期間中、吉田南構内では講演や展示、ミキサー、本部構内では大会2日目の28日（木）午後、時計台記念ホールでの各賞表彰や記念講演、国際交流ホールでの懇親会を予定しています。今回からはポスターセッションがなくなり、口頭講演を増やすことになりました。

近年京都を訪れる外国人観光客は増加の一途をたどり、町を歩けばいくつもの国の言葉が飛び交って耳に入ってくる状態で、どこの国の往来にいるのかわからなくなります。ホテルや旅館の客室利用率は年平均90%ぐらいで、観光シーズンである4月や11月は95%を超えます。その40%が外国人観光客です。おりしも桜の季節であり、皆様にも大学周辺の桜の名所をぜひお楽しみいただきたいのですが、訪れる観光客も国内国外をあわせてピークに達すると思われる。なるべく早く大会中の宿を確保していただくよう、だいぶ前からHPなどを通じてお願いしておりますが、この文章を目にされるころはすでに京都市内でのホテルの予約はほとんどできない状態になっていると思います。たいへんご不便をおかけしますが、大阪、奈良、滋賀など近隣の府県も含め、少し範囲を広げてお探しいただければと存じます。

国際化の波はあらゆる方面に広がっており、たとえば京都大学では現在、学部や大学院を通じて、学生の10人に1人が留学生、大学院に限って言えば5人に1人が留学生という状況です。この傾向は日本の少子化とあいまって、さらに進んでいくものと思われます。本会でも留学生をはじめ外国人の登壇もたいへん多くなりました。第86回大会は平成最後の大会となりますが、次の時代は社会の国際化がさらに進み、それに伴い学会のありかたも大きく変わっていくものと思われます。

そのような世の中の大きなうねりを感じさせられる今日このごろですが、本大会がこれまでと変わらず、活発な研究発表や議論が行われる場となり、産官学間の交流を通じて多くの皆様にとって有意義なものとなることを祈念しております。実行委員一同、春の京都への皆様のお越しを心よりお待ちしております。

Rika HAGIWARA
電気化学会第86回大会
実行委員長
京都大学エネルギー科学
研究科教授